

## 1年生 探究サイクルを学ぶ ～タブレットの活用で効率的な学びを～

1人1台タブレットを活かし、タブレットを活用しながら探究サイクルの一連の流れを学びました。紙媒体で行っていた活動をタブレットにすることで、発表資料への工夫の幅も広がりました。

### 【目的】

SDGs を切り口に探究サイクルを体験することを通して探究プロセスを学ぶと共に、社会と自己のつながりを実感する。

### 【学習の流れ】

- 1 時間目 グループ・分野・テーマ決め(8 分野に分かれる)
- 2 時間目 情報収集の方法を知る
- 3 時間目 情報収集・プレゼン準備①
- 4 時間目 情報収集・プレゼン準備②
- 5,6 時間目 グループ発表会

### 【発表形式(8人1グループ)】

- ・発表 3分 + 質疑応答 2分
- ・発表後、全体を通しての振り返り

### 1年生の振り返り

#### 【成果】

- ・自分なりに見やすい資料が作れたと思う。質問にもしっかり答えられた。
- ・資料に書かれていたこと以外にも説明できた。
- ・資料が見やすいと言ってくれた人がいたので良かった。

#### 【反省】

- ・人に伝わりやすく発表することは難しいと思った。ちゃんと話すことを考えておこうと思った。
- ・プレゼン資料に文字ばかりを使っていて、表などを使えていなかった。
- ・スライドを読むだけの発表になってしまった。

担当から：今回は、探究サイクルを学ぶとともに、1つのテーマに関して、様々な視点から見ることの重要性を実感できたのではないかと思います。今後、自身の興味関心に沿って探究を進める際にも視点を変えて考えることに挑戦していきましょう！

### ○人文学・芸術分野の視点での発表資料

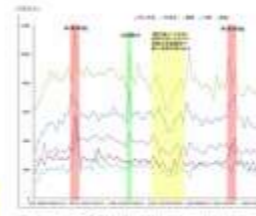
#### プラスチックの利用率に地域差はあるのか？

○愛知県の各地によるプラスチックの利用率

【モデル地区として調査した地域】

- 平岡の庄作
- 中津島町
- 豊野市
- 小野市
- 朝倉市

どの地域においても月間200kgを超える  
一年間の大きなイベントの月に増加



#### プラスチックの利用率に地域差はあるのか？

○世界各地のプラスチック問題の現状



海軍から50km以内に居住している人々によって  
不適正処理されたプラスチックごみの推計量(2019)

○アジア諸国における輸入規制

- ・中国→ 2017年7月:「固体废物物輸入管理暫行規定案」を公表
- ・2017年8月:「輸入廃棄物管理規程」の公表
- ・2018年4月:国体廃棄物の段階的な輸入停止方針を公表
- ・タイ→ 2018年6月:電子廃棄物やプラスチックの輸入制限を強化

### ○まとめ

※プラスチック処理問題が深刻化していること

※場所による差と季節や行事による差が生じられるとわかった。  
※現在日本は埋立地がごみによって少しずつ埋立しているため私たち自身が  
ごみを減らすようにリサイクルなどに取り組むべきである

>参考文献

1. 第24回一般社団法人廃棄物資源循環学会

### ○生活科学分野の視点での発表資料

#### プラスチックストローから紙ストローに代わって変わったことはなにか

<プラスチックストローが環境に与える影響とは>

→プラスチックは燃焼分解されずに半永久的に環境に残る

- ① 海への影響
- ② 海洋生物と人体への影響
- ③ 水産業、観光業への影響
- ④ 土壌、大気汚染

<紙ストローが環境に与える影響とは>

→紙ストローはリサイクルも廃材処分も可能

紙ストローが環境に与える影響は少ないが、単価が高いためコストがかかる



#### <紙ストローに代わって>

メリット

デメリット

紙には強いけど、あまり好まれない

容器包装廃棄物の年間排出量



探究サイクル・情報収集の方法  
について学ぶ様子。



互いの発表資料を送りあって、手元で見ながら発表を聞けます。